

「革新的な生産性向上を実現し、 地域全体の活性化につなげていく」

株式会社 北國銀行
常務執行役員 経営企画部長 兼 デジタル部長
寺井 尚孝



次世代地域デジタルプラットフォーム

はじめに

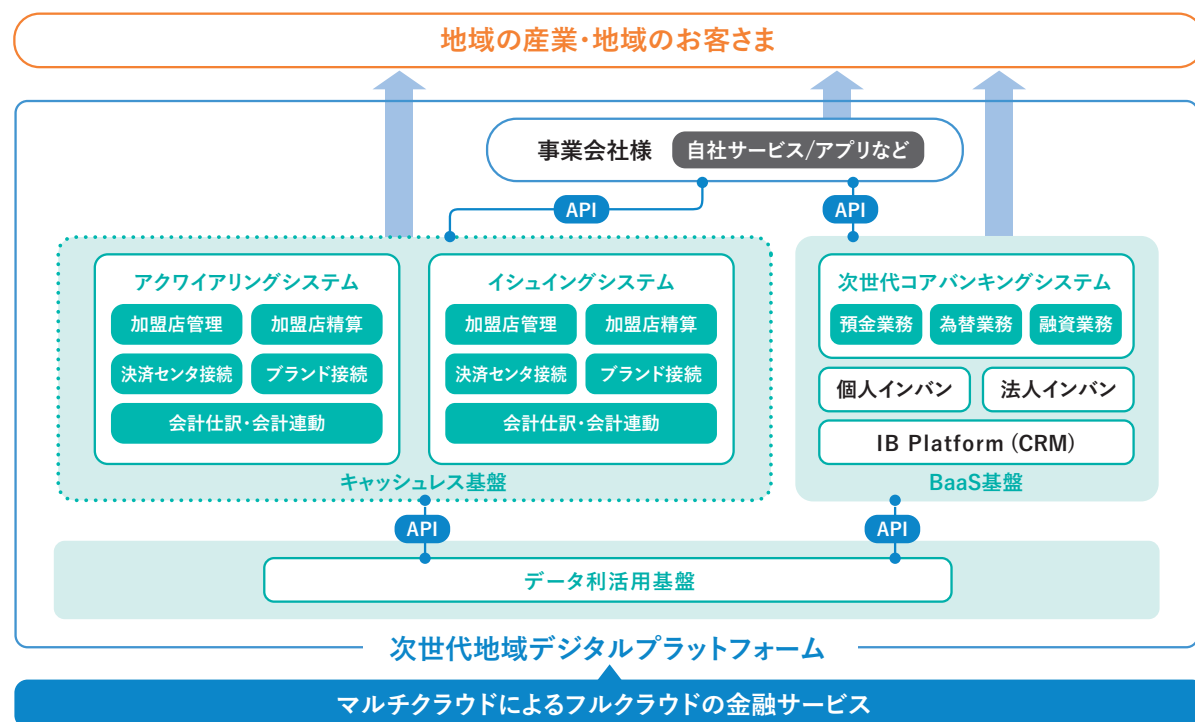
私たちは、キャッシュレス・デジタルの推進により、地域の皆さま、事業者さま、自治体等を含む地域全体の「革新的な生産性向上」を目指しています。事業者さま・自治体では、業務の簡略化や現金流通コストの削減、データ活用等の取組みにより、それぞれが付加価値の高いサービス提供に集中できる環境を創出します。キャッシュレス・デジタル化によって、事業者さまは新たなビジネスチャンスの探求、自治体は効果的な政策展開や公共サービス提供が可能になると言われています。地域

の皆さまは、事業者さまや自治体が提供する、便利で多様なサービスを享受することができます。

そのような環境の確立は、地域の生産性向上に加え、地域全体の活性化につながるものと考えています。また、セキュリティやネットワークインフラの整備等を通じ、安定した取引環境を確保する経済インフラを強化することで、信頼性の高いビジネス環境を構築し、国内外の企業や投資家からの信頼を獲得してまいります。

北國FHDは、より良い金融サービスの実現や銀行経営の効率化を推進するために、フルクラウドの金融サービスを備えた次世

次世代地域デジタルプラットフォーム構築プロジェクトの全体像



代地域デジタルプラットフォームをマルチクラウドで構築するプロジェクトの検討を2023年1月に開始しました。

の中で、カード領域において、株式会社インフィュリオンと共に検討を進め、クラウド上に全く新しい2つのカードシステムの構築を進めています。

- 自社の口座保有者の利便性を高めるデビットカード発行・運用を行う、全く新たなイシューイングシステム
- 自社利用にとどまらず外部事業者への提供が可能な加盟店管理・業務を行う全く新たなアクワイアリングシステム

バーチャルデビットカードが発行可能な新しいイシューイングシステム

本システムにより、スマートフォンの銀行アプリでのバーチャルデビットカード発行・管理・決済が可能となります。

北國銀行口座をお持ちのお客さまには、対面・書面での手続きを行うことなく、デジタル完結で国際ブランドのバーチャルデビットカードを発行し、キャッシュレス・カードレスでの決済を行って頂けるため、高い利便性を提供できると考えております。

Visaソリューションを活用したフルクラウド型アクワイアリングシステム

本システムは、Visaグループが世界で展開するソリューション

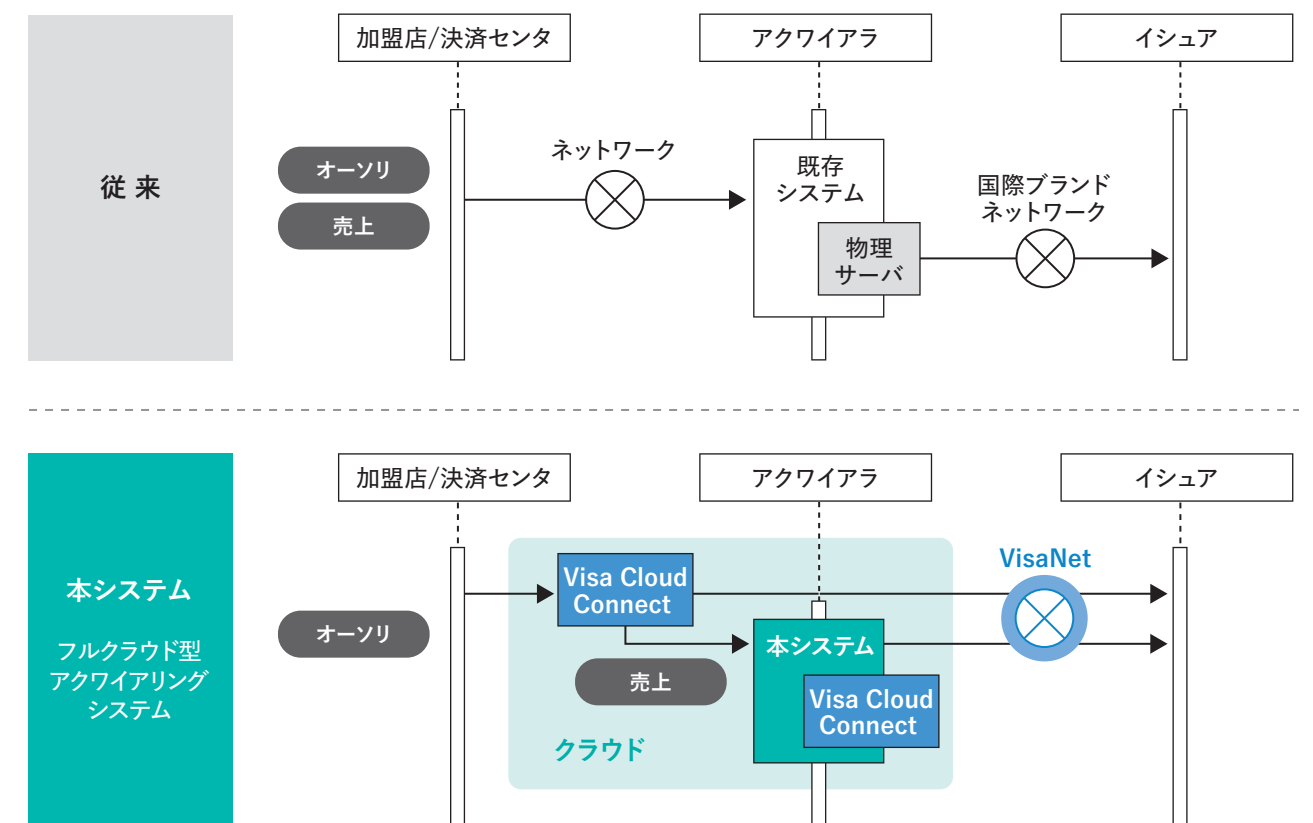
「Visa Cloud Connect *1」・「Visa Platform Connect *2」を活用したフルクラウド型アクワイアリングシステムとなります。

*1: Visaクライアントがクラウド環境を通してVisaNet接続する最新のソリューション
*2: 決済処理を直接VisaNetにリクエストし、プロセスを最適化するソリューション

本システムは、オーソリゼーション・クリアリング、加盟店精算・管理、決済センタ・国際ブランド接続等のアクワイアリング業務に必要な機能を備える、クラウド上に構築するシステムで、北國銀行カード事業での利用にとどまらず、外部事業者様にもご活用頂くことができます。

国際ブランド接続機能においては、「Visa Cloud Connect」を国内企業で初めて活用することで、VisaNetにクラウドを通して安全に接続します。また、決済センタ接続や、オーソリゼーション等の機能においては、消費者の決済体験を向上させる多様な機能を有する決済ソリューション「Visa Platform Connect」を活用することにより、主に下記の3点の実現を目指します。

- 1) オーソリゼーションの際に発生するネットワークコストを削減し、従来よりも安価にカード決済処理サービスを提供
- 2) 暗号化トークン、不正決済検知、スマートフォン・タブレットでのNFCタッチ決済など、多岐にわたる先進技術の提供
- 3) 国際基準に即した決済システムによる高水準の処理パフォーマンス、高度なセキュリティ、および柔軟性のあるシステム機能改善の提供



「いつでも」「どこでも」「誰でも」安心してキャッシュレス決済ができる社会へ

当社では現在、ビザ・ワールドワイド・ジャパンとの協働プロジェクトとして、Visaのキャッシュレス決済を基軸に、地域活性化を目指す取組みを推進しています。協働プロジェクトでは、北陸地域全体が「いつでも」「どこでも」「誰でも」安心してキャッシュレス決済が利用できる社会を実現するためのスローガンとして、「Super Cashless Region」を掲げています。



当社は、キャッシュレス決済を通じ、日常生活におけるあらゆる生活行動シーンのすべてが滞りなくスムーズにつながる、安心・安全なキャッシュレス・デジタル社会を目指しております。当社の様々な取組みを基盤に、北陸地域を日本の「キャッシュレス・デジタル先進地域」へと導き、生産性向上や資金循環による地域活性化を実現してまいります。



Super Cashless Regionに向けた様々な取組み

Super Cashless Regionの実現に向け、北陸地域へのキャッシュレス対応機器の導入サポート等様々な取組みを行っています。Visaデビットカードの推進やカード決済端末の無料配布等を行い、キャッシュレスの推進を目指した取組みを続けております。

北國DXキャッシュレスファンド

2020年10月、企業や地方自治体等のDX（デジタルトランスフ

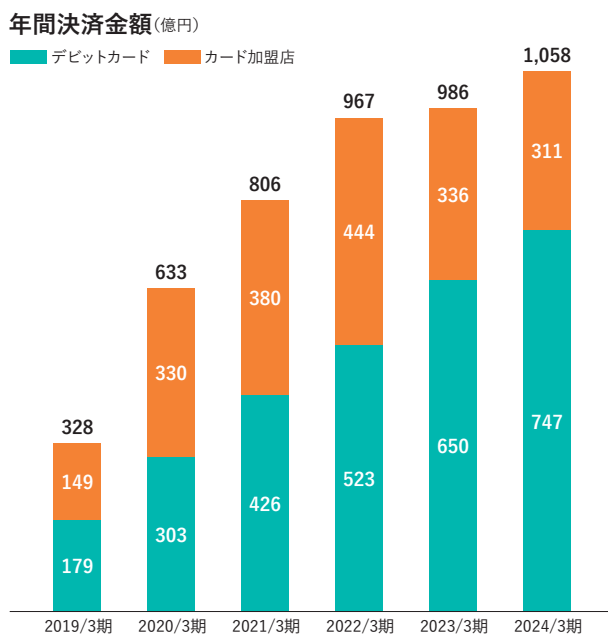
ォーメーション）、キャッシュレス化のサポートを目的とし、総額10億円のファンド「北國DXキャッシュレスファンド」を設定しました。カード決済端末導入支援のほか、病院への自動精算機導入、スーパーマーケットへのセミセルフレジ導入、またプール・温泉施設へのキャッシュレス機能付き券売機の導入、路線バスへのキャッシュレス乗車設備の導入等に活用され、利用者の皆さまの利便性向上に貢献しております。

北國Visaデビットカードの発行推進

キャッシュレス決済の利用者増加に向け、地域の皆さまに対してキャッシュレスが便利な支払い手段であることをお伝えし、各種サービスの活用をご提案しています。代表的なサービスとして、「北國Visaデビットカード」の発行を促進しております。現金感覚で使用し、決済金額に応じたポイントを貯めることができる北國Visaデビットカードは、Visaマークのあるお店であれば24時間365日全世界で、「いつでもどこでも」ご利用いただけます。現在、北陸3県では10人に1人、特に石川県では5人に1人が所有しており、決済額も順調に増加しております。

カード決済端末の導入推進

キャッシュレス決済に対応する事業者さまの増加に向け、当社では「カード加盟店サービス」をはじめ、各種キャッシュレス対応機器の導入支援を行っています。北國Visaデビットカードの利用推進と同様、キャッシュレス対応機器をより多くの事業者さまに導入いただくことで、キャッシュレス決済を“いつでもどこでも”利用できる社会の創出を後押しいたします。



カード加盟店サービスにおける新加盟店端末・新プラン提供開始（2023年7月）

QRコード決済やWi-fiで接続が可能なカード端末「PAX A920」を導入し、加盟店サービスの新端末・新プランの提供を開始いたしました。この端末は、店舗内外での決済やレシートの電子保存、データ化などの機能により、業務効率化に貢献します。この新端末・新プランにより、加盟店のみならずによりお得に、より便利にご利用いただけるようになりました。

「北國デビットアプリ」のサービス開始（2023年9月）

北國Visaデビットカード会員さま向けに、スマートフォンアプリ「北國デビットアプリ」のサービスを開始しました。地域におけるキャッシュレス決済の広がりや浸透、お客さまの生活スタイルの変化等に対応し、必要な機能を柔軟に搭載することを目的として、当社グループ内で本アプリを内製開発しました。今後は、お客さまのご要望を取り入れながら、より柔軟でスピーディーな機能追加を継続してまいります。



カード加盟店における継続課金（リカーリング）サービスの開始（2023年9月）

カード加盟店における継続課金サービスを開始しました。このサービスは、定期的な代金回収業務において、カードでの支払いを可能にし、事業者様のお客さまによる多様な支払ニーズへ対応いただくことができます。

金沢ゴーゴーカーレースタジアムの完全キャッシュレス対応（2024年2月）

Jリーグに加盟するプロサッカークラブである、ツエーゲン金沢主催試合時の金沢ゴーゴーカーレースタジアムにて、完全キャッシュレス対応が開始されました。これにより、スタジアムにご来場いただくお客さまは、Visaカードをはじめとする様々なキャッシュレス決済がご利用可能となり、利便性向上が図られます。この取組みには当グループが全面的に協力いたしました。

北陸鉄道におけるキャッシュレス乗車システムのサービス開始（2024年3月）

北陸鉄道グループの路線バス等でキャッシュレス乗車サービスが開始されました。タッチ決済対応カードやスマートフォン等で乗車料金を支払うことができますようになります。このサービスは2024年3月16日から加賀エリアや金沢周遊バスで利用でき、今後石川県全域に順次広がっていきます。観光客などの利便性向上に貢献するとともに、地域のキャッシュレス化を促進するものです。

お客さまの声

地域に根差した北國Visaデビットカードとともに地域貢献

北陸鉄道株式会社 代表取締役社長 宮岸 武司様



タッチ決済の交通利用が全国的にも普及しつつある中、北陸鉄道グループでは北國FHD様との協業により2023年度に小松・加賀地区の路線バスにタッチ決済を導入しました。

2024年度は金沢地区の路線バスと特急バス、2025年度は鉄道線に導入予定です。タッチ決済の特徴は様々ですが、特に北國Visaデビットカードは、当エリアにおいてカードホルダー様が多く、少子高齢化や人口減少で公共交通の利用者が減少する中、利用障壁を下げるキャッシュレス手段として期待しております。それも、ただ単にカードホルダー様のご利用をお待ちするだけでなく、小売業やイベントといった他分野との連携に取り組むことで、積極的に公共交通の利用促進に努めていきたいと考えております。こうした取組みは、北國FHD様が進める「Super Cashless Region」に呼応するものであり、キャッシュレスにより地域全体が元気に、そして豊かになるよう、人々の移動を支える交通事業者として、引き続き地域貢献に努めてまいります。

デジタル地域通貨サービスの提供

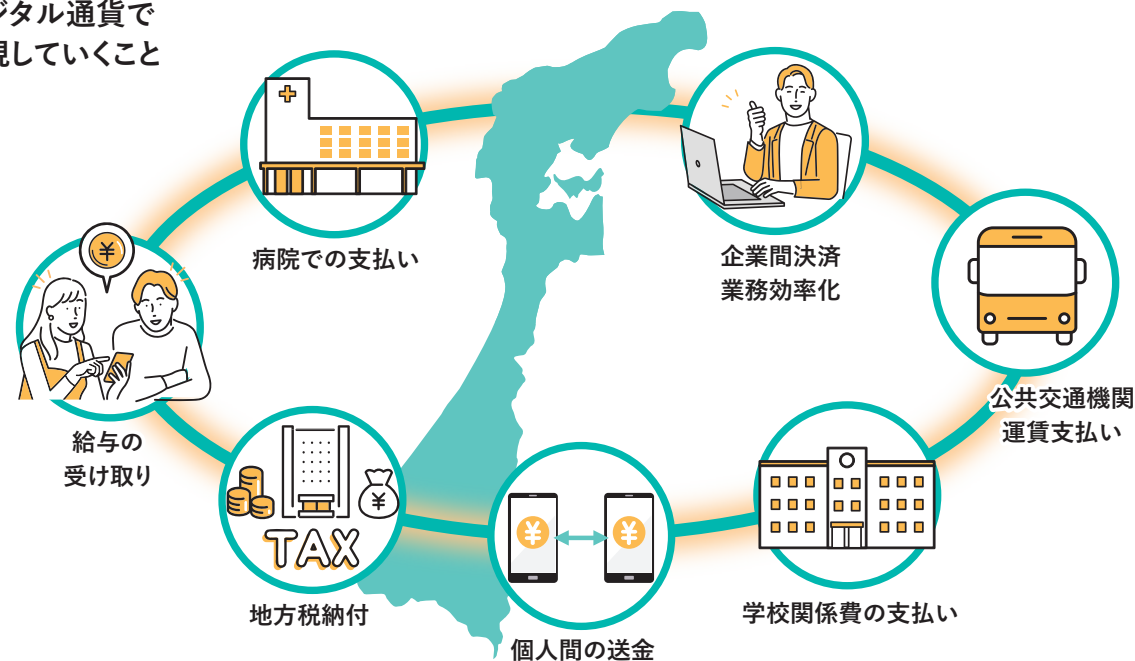
当社は、2023年10月よりデジタル通貨サービス『トチツーカー』ポイントサービス『トチポ』2024年4月より日本初の預金型ステーブルコイン『トチカ』を開始し、トチツーカーのアプリでは、自治体が発行するポイント『トチポ』に加えて、北國銀行が発行する日本初の預金型ステーブルコイン『トチカ』の2種類の地域通貨の利用が可能となりました。

トチポ 2023年10月に珠洲市で導入し、今後石川県内の他自治体で導入を推進します。自治体のアナログなポイント事業や地域商品券等を取り込み、自治体内で流通する地産地消ポイントとしてデジタルシフトを進めてまいります。

トチカ 石川県全域で流通し、トチツーカーアプリ上でチャージ用銀行預金口座の登録等を行うことで、トチカ口座が開設されます。チャージによって1トチカ＝1円としてトチツーカー加盟店でのお支払いにご利用いただけます。また、加盟店の方は0.5%（税込）という国際的にも最低水準の決済手数料でキャッシュレス決済を導入することができます。

ブロックチェーンの技術をベースとした金融システムを構築し、北國銀行が発行する預金型ステーブルコイン『トチカ』は勿論のこと、国内で自治体発行のポイントや商品券給付金をデジタル化したポイントサービスを一つのアプリで合算して決済できるサービスは、全国で初のことと認識しております。

デジタル通貨で実現していくこと



デジタル地域通貨サービス提供の目的

石川県のキャッシュレス決済比率100%へ

当社では、シームレスなキャッシュレス社会を目標に、「Super Cashless Region」実現に向けた各種取組みを行っており、デジタル地域通貨流通に向けた本プロジェクトと北國Visaデビットカードを中心としたカード決済普及のコラボレーションにより、石川県内のキャッシュレス決済比率100%を目指しております。県全体でのキャッシュレス・デジタル化と生産性向上により、新たなイノベーションの創出を促進したいと考えております。現在、日本国内の現金取扱いコストは年間約3兆円と試算されています。県内のキャッシュレス決済比率は3割を超えていますが、韓国では既に9割超の決済がキャッシュレスとなっており、日本のキャッシュレス決済比率は依然として低い水準に留まっています。^{*1}

当社は、国内のキャッシュレス決済比率を100%に近づけることによって、社会の生産性を高め、企業の成長投資や人的資本への投資を後押しするものと考えています。また、自治体運営のデジタル化をサポートすることで、行政サービス向上の一助になればと考えております。

^{*1} 一般社団法人キャッシュレス推進協議会「キャッシュレス・ロードマップ2022」（2022年）

価値サービス創出の実現に向けて

本サービスは、複数の要素によって支えられる独自性を通じて、地域の皆さまに新たな価値を提供することを目指しております。第一に、1つのアプリケーションの中で、「ポイント」「デジタ

ル通貨（ステーブルコイン）」また、「その他アプリケーション」を融合できる点が挙げられます。

利用者は、同一のアプリケーション内で複数のサービスを利用することができるため、利便性の高いツールとして使用可能となります。

今後、県内で流通するデジタル地域通貨と、既に県内各市町内で流通しているポイント制度が地域内で循環することが可能となれば、「新たな経済エコシステム」を実現できるとも考えています。

利用者は、北國銀行が発行する「デジタル通貨（ステーブルコイン）」の『トチカ』を、チャージ後に再度現金へ換金することも可能です。一般的に、多くの電子決済サービスでは、チャージした現金を再度換金することはできません。『トチカ』においては、利用者の状況に応じて換金できるため、現金のチャージやキャッシュレス決済に抵抗のある方にも、安心してご利用いただけます。

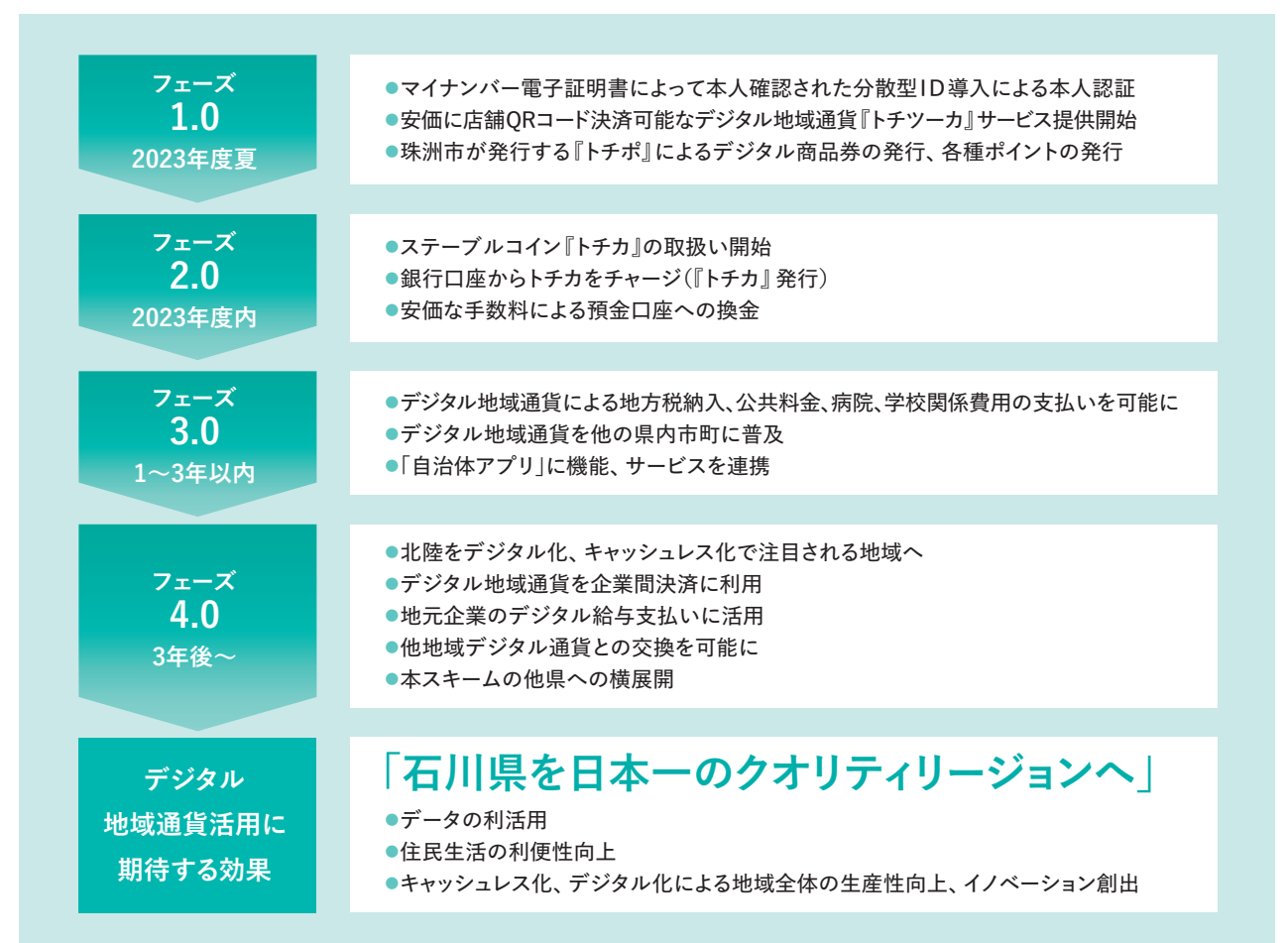
一方、参加店舗に対しては、「決済手数料」が安価である点が最大の魅力と言えるのではないのでしょうか。私たちは、決済手数料の負担の大きさも、キャッシュレス決済普及を阻む一因だと考え、本サービスにおける参加店舗負担の決済手数料は、国際的にも最低水準である0.5%を実現しました。

一般的なカード決済手数料の3.0%に比べ、大きく料率を下回っ

ており、現金を取り扱うすべての事業者や病院等にも利用いただくことで、決済手数料負担軽減や業務効率の向上へつなげ、新しい価値サービスを生み出す投資や時間捻出を実現します。

今後の展望

石川県のキャッシュレス決済比率100%の実現に向け、利用者と事業者の双方、そして地域に利便性を提供するため、各フェーズごとに取組み内容を定めています。3年以内には、デジタル地域通貨による地方税納入や公共料金、病院、学校関係費用の支払いを可能とする計画です。5年後には、加盟店は約20,000店舗、ユーザー数は約400,000人を目指しております。また、本人認証に生体認証を追加することで、セキュリティレベルを高めると同時に、利用者のユーザーエクスペリエンスを高めてまいります。地元企業の給与支払いへの活用や、他地域のデジタル地域通貨との交換を可能にする等、順次機能を追加していく予定です。さらに、構築したスキームを他県でもご活用いただくことで、北陸地域以外のキャッシュレス・デジタル化にも貢献いたします。デジタル地域通貨の流通とその進展を目指す本事業を通じ、キャッシュレス・デジタル化による地域の生産性や利便性を向上し、クオリティリージョンを実現してまいります。



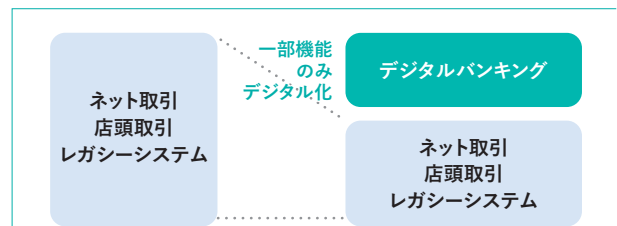
先進的なデジタルバンクを目指して

当社では、銀行取引を「すべて」デジタル化したデジタルバンクの実現に向けて取り組んでおります。

インターネットバンキング

一般的な金融機関のデジタルバンクは、銀行機能取引の内、一部機能のみをデジタル化したものを指しますが、当社では、法人向けの『北國デジタルバンキング』や個人向けの『北國クラウドバンキング』といったインターネットバンキングを自社開発し、全機能領域でのモダンイズを目指しております。各種デジタルプラットフォームの基本手数料は法人・個人ともに無料でご提供しております。

一般的な金融機関のデジタルバンク



北國FHDが考えるデジタルバンク



HOKKOKU LIFE+の推進

個人のお客さまのキャッシュレス・銀行口座のデジタル化を進め、より豊かで便利な暮らしを実現するためのサービスとして、2021年2月より『HOKKOKU LIFE+（ホッコクライフタス）』をご提供しております。HOKKOKU LIFE+は、Visaデビットカード・北國クラウドバンキング・通帳レス・印鑑レスの4つを揃えたサービスとなっております。



全国の提携コンビニエンスストアまたは提携銀行のATM手数料や、北國クラウドバンキングでの他金融機関宛振込手数料が無料となる等、ご契約者さまには様々なメリットがございます。

2024年3月末時点

HOKKOKU LIFE+ 会員数 **124,751人**

BaaS基盤を活用した全国への展開

さらに当社では、フィンテック事業者が運営する金融サービスに対し、銀行機能を提供するBaaS（Banking as a Service）基盤開発に取り組んでいます。BaaSの開発とは、全国の法人・個人向けに次世代金融プラットフォームを構築することを指します。また、お客さまの生産性や利便性向上につながるサービスの提供を目指す企業に対し、低コストかつ手軽に利用できるBaaS基盤を提供することで、地域の生産性向上に寄与するものと考えております。地域企業がデジタルサービスを急速に生み出せる土壌の整備につなげ、地域の変革と持続的成長を目指します。

BaaS事業の狙い 新たな顧客へのリーチと地域貢献を目指して

当社では、フィンテック事業者に対してBaaS基盤を提供することが、顧客基盤の拡充や地域貢献につながるものと考えております。フィンテック事業者は、新しい銀行サービスを提供する企業であり、既存の銀行業界の枠組みにとらわれずに革新的なサービスを展開しています。当社が提供するBaaS基盤をフィンテック事業者が活用することにより、当社が直接リーチできない顧客層へアプローチすることが可能となります。また、フィンテック事業者は、従来の銀行サービスが十分に普及していない地域や人々に、革新的な金融サービスを提供することに焦点を当てていることから、BaaS基盤を通じた、地域のニーズに応えるための金融ソリューション提供によって、地域の経済成長や金融包摂を支援してまいります。

既存サービスとの違い

既に他社で提供されているサービスとの大きな違いは、エンドユーザーに金融サービスを提供するフィンテック事業者に対し、サービスのフロント部分の変更に関する自由な裁量を与えている点です。サービスのフロント部分とは、エンドユーザーが使用するサービス画面を指します。フィンテック事業者は、独自のアイデンティティやブランド価値を反映させるために、サービス画面を自由にデザインすることで、ユーザーエクスペリエンスをカスタマイズし、他社とは異なる魅力的なサービスの提供が可能となります。また、自社の戦略やビジネス目標に合わせてサービス画面を最適化することで、独自のマーケティング戦略を展開し、顧客獲得にもつなげます。サービス画面の変更を容易に行えるため、市場のトレンドやユーザーのフィードバックに柔軟に対応することも可能です。機能や改善点を迅速に実装し、ユーザーフィードバックをもとに、より使いやすいインターフェ

ースや付加価値のある機能を提供することで、競争力を維持し、顧客満足度の向上を図ります。このように、当社の銀行機能を活用した継続的なイノベーションにより、テンプレート的なサービス提供にとどまることなく、協業し、より最適な顧客サービス構築を目指します。

BaaS事業がもたらす効果

BaaS事業では、フィンテック事業者が獲得した顧客の預貸金・顧客情報は当社で管理するため、首都圏を中心としたスタートアップ企業等の顧客データを獲得することができます。現状では、月間200社程度の口座開設を見込んでおり、顧客基盤の拡大は、北國FHDグループのCCイノベーションによるコンサルティング、FDALcoによる投資助言、QRインベストメントによる投資支援をはじめとする各種ソリューションの提案機会創出にも結び付くこととなります。また、エンドユーザーであるスタートアップ企業と北陸の企業をマッチングする等、企業の相互成長を促進し、新たなビジネス機会創出にもつなげたいと考えております。さらに当社は、BaaS基盤構築における先進テクノロジーの知見を集積し、継続的な横展開を図ることで、様々な成果を得ることができると考えています。この戦略の重要性は、単なる収益の拡大だけでなく、技術の広がりや向上にも焦点を当てている点です。知見の集積とは、内外の情報源からBaaS基盤構築に関する最新の技術動向やベストプラクティスを収集し、それを自社の知



識として蓄積することです。専門のチームやパートナーとの協力を通じて、市場のニーズや顧客の要望に応えるための最良の手法を追求してまいります。また、横展開とは、既存の技術やサービスを活かし、その技術を他社にご利用いただくことを指します。技術提供を通じて、私たちは他社と協業しながら、業界全体の技術レベルの向上を目指しております。持続的な成長とともに、他社との連携を通じて相互の発展を促進し、社会課題の解決を図ります。当社がBaaS基盤の構築を目指す大きな目標には、「地域に金融機能を提供する」という狙いがあります。私たちがサービスを提供する事業者のその先にあるお客さまの利便性を向上させることは、地域全体の活性化につながると考えており、地域内の各事業者の発展を通じた地域全体のイノベーションを実現してまいります。

